

鳩だより

(敬称略)

祝 堅 信

6月20日(日)
マルタ 佐藤 祥子
徳島インマヌエル教会

ご 逝 去

6月5日(日)
トマス 小瀧 信夫(88歳)
松江基督教会
6月16日(水)
マリア 林原 洋子(85歳)
米子聖ニコラス教会

神戸伝道区

6月20日(日)
神戸伝道区説教者交換を行った。

◎神戸昇天教会
6月6日(日)

バルナバ伝道集会を開催。講師には、(福)光朝会オリンピア総施設長、山口 元氏にお越し頂き、「間違いだらけの老人介護」という講題で、目指している介護とその背後にあるキリスト教精神についてお話し頂きました。介護の問題は人々の関心が高いこともあって、参加者60数名の内、約半数が信徒知人、会館利用者、オリンピア関係者、近隣からの来会者でした。

広島伝道区

◎広島復活教会
6月20日(日)
広島平和礼拝の碑巡りに向け、午後1時30分から、今田

9月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2010年9月2日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 與賀田 光嗣

* 9月の記念逝去教役者 *

1日	伝道師	緒方 政枝
3日	伝道師	上西 八枝
4日	執事	ラザロ 布施 好古
9日	伝道師	三宅 福恵
10日	司祭	ステパノ 片山 民治郎
12日	主教	ヘンリー・エビントン
13日	宣教師	レティシア・N・エドワーズ
16日	司祭	ウィリアム・マレーウォルトン
17日	司祭	アブラハム 米村 勇雄
20日	伝道師	吉田 照子
不明	宣教師	ドロシー・グレッグソン

8月1日(日) 日本聖公会 青年活動のための日

この主日には日本聖公会の青年活動のために祈りを献げ、当日の信施金は管区を通して、同活動のためにお届けください。

《次号予定》

巻頭 柳本博人司祭
松蔭女子学院チャペル活動
教会音楽研修会報告ほか

神戸聖ミカエル大聖堂

耐震改修工事献金のお願い

神戸教区関係各位

主イエス・キリストの恵みと平和が皆様の上に豊かにありますように。1959年、フィッシャー・カンタベリー大主教によって聖別された聖ミカエル大聖堂は、阪神・淡路大震災による激震にも耐え、今日までの51年間、神戸教区内各教会・聖公会関係学校・園・諸施設・諸団体の母なる教会としての務めを果たして参りましたが、公的には大聖堂の余年名数はあと9年となりました。

この現実を踏まえ、2年前より、様々な角度から大聖堂の今後について検討してまいりましたが、建物の寿命を30~40年延ばすことが、今を生きる私たちにとって、唯一、可能な施策である、との結論に至りました。

この工事実施により、大聖堂の次の時代を担う人たちの負担を少しでも軽減することで、私たちの責任の一端を果したい所存です。そして、大聖堂聖別100年までに、21世紀後半から22世紀にかけての、神戸教区におけるキリスト教宣教と大聖堂の役割についての将来像を描き出し、それにふさわしい大聖堂へと、衣替えしていただきたいと念願するものです。

関係各位におかれましては、どうか、工事の趣旨に賛同していただき、祈りと共に、献金を宜しくお願いいたします。

2010年7月
日本聖公会神戸教区
主教 アンデレ 中村 豊
常置委員 会

聖ミカエル大聖堂耐震改修工事

工事総額 4,900万円
内 耐震補強工事 2,960万円
改修工事 1,940万円
工事収入 神戸聖ミカエル教会献金 3,000万円

大聖堂耐震改修工献金 1,900万円

献金期間 2010年7月1日より
2011年3月31日まで

献金方法

1. 配布された献金袋に献金予約をし、礼拝時に献げていただく
2. 郵便振込用紙を用いて献金していただく
郵便振込口座 01190-5-43427
加入者名 日本聖公会神戸教区

※詳細については神戸教区事務所(078-351-5469)までお問い合わせください。郵便振込用紙は各教会に配布済みですが、余分が必要な場合は教区事務所までご連絡ください。

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報

2010年
8月号

発行所 神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
http://www.nskk.org/kobe/
発行責任者 司祭 芳我 秀一
印刷所 文明堂印刷所

これはわたしの子、選ばれた者。 これに聞け

(ルカ9章35節)

司祭 オーガスチン 小林 尚明

今年も8月5日(木)、6日(金)広島平和礼拝が、広島復活教会をメイン会場に行われます。6日の原爆投下時間にあわせて、原爆犠牲者追

悼聖餐式が行われ、原爆犠牲者の平安のため、また世界平和のために祈りが献げられます。当日は、主イエス変容の日で、福音書としてルカ伝9章28節以下が朗読されます。巻頭の聖句は、その中に記されているものです。また、この聖書箇所は、大齋節前日にも読まれる箇所です。すなわち、存じのものです。

変容の物語

イエス様は、エルサレム・十字架に向かう前に弟子達を連れて、フィリポ・カイサリア

地方に行かれます。そこでペトロから信仰告白を受けられて、初めてご自身の受難と復活を予告され、御自身に從いたい者は「自分を捨て、日々、自分の十字架を背負ってわたしに從いなさい」と招かれました。それから八日ほどたってからのお話です。イエス様は、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて山に登り祈っておられるうちに、服は真っ白に輝きます。そしてモーセとエリヤも栄光に包まれて現れます。その出来事があまりにすばらしく、そこにいつまでも留まりたい、という思いからだと考えられますが、ペトロがイエス様に「先生、わたしたちがここに居るのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです」と言っている間に雲が現れ、父なる神様が「これはわたし

の子、選ばれた者。これに聞け」と語られます。仮小屋を建てて、そのすばらしさの中に留まることではなく、イエス様に聞き従って行きなさいと父なる神様の御旨が示されます。

主は何を言われるか

広島復活教会は、数年前、聖モニカ礼拝堂の二つの日曜学校を開校していますので、復活教会の日曜学校は、日曜学校の先生達が、礼拝の司式、お話し、分級をして下さっています。

礼拝でのお話しのために、「神さまの子どもたちへ」という参考書を読んで、担当者がお話しの内容を発表するという聖書研究会をしています。ある時、先生達に、「もしイエス様があなたの目の前に現れたら、何と言われますか」と尋ねたことがあります。みなさんだったらどうでしょう。イエス様はみなさんに何を言われますか。

先生達一人一人に聞いてみますと、実にまじめな先生達が見出されました。「神様を愛しなさい。隣人

を愛しなさい」とか、「礼拝を大切にいなさい」、「一生懸命生きなさい」とか、「与えられている賜物を大切に、神様に仕えなさい」、「いつも感謝していなさい。お祈りをしなさい。聖書をよく読みなさい」。

全部、ああしなさい、こうしなさい、ばかり出てきました。 「なんだか命令ばかりするイエス様ですね。そのことをイエス様は伝えるためにこの世界にいられたの?」と言いますと、先生達、「それ以外に何があるんだ!」みたいな顔をされています。

そこで私は「あなたを愛している。大切に思っている。どんなに世間があなたなんか価値がない、と言っても、私はあなたを愛している」とイエス様は言ってくださるんじゃないの?と言いますと先生達は納得してくださいました。父なる神様はイエス様に聞き従うように求めておられます。しかし、一番聞かなければならないイエス様の言葉は、何でしょうか。

どういうイエス様の言葉を聞くかによって信仰生活もだいぶ違ってくるように思います。(広島復活教会牧師)



大聖堂耐震改修工事、いよいよスタート!

主教 アンデレ 中村 豊

6月21日(月)を期して耐震改修工事が開始されました。工事は8月末で完了する予定で、今まではひと味違った聖堂への衣替えが大いに期待されます。

工事概要

約2年前、聖ミカエル教会、教会委員会の了承を得て耐震診断を実施した結果、天井鉄骨を筋交い補強すれば、地震にも耐え、余命年数も30〜40年延びること。同時に、コンクリート支柱の中性化防止のための防水工事も必要であることが判明しました。

主教座聖堂参事会では耐震工事に付随した、聖堂内環境整備



大聖堂耐震改修工事外部



大聖堂耐震改修工事内部

を検討した結果、

- ①窓を二重にして防音効果を高める。
- ②新たな天井板は反響のよい材質に変え、床をフローリングにして、音響改善をはかる。
- ③将来、パイプオルガン寄贈を想定し、パイプの高さの確保と、設置場所の床を補強するなどを決定しました。

工事の目的

工事実施により、建物の寿命を30〜40年延ばし、大聖堂の次の時代を担う人たちの負担を少しでも軽減することで、私たちの責任の一端を果たし、大聖堂聖別100年までに、21世紀後半から22世紀にかけての、神戸



耐震改修後の大聖堂内部予想図

教区におけるキリスト教宣教と大聖堂の役割についての将来像を描きだし、それにふさわしい大聖堂へと、衣替えしていただきたいと思えます。

1. 9000万円献金

工事総額は約4,900万円となりました。このうち、神戸聖ミカエル教会では3,000万円を献金していただきます。従って不足金の1,900万円は教区関係者に広くアピールし、献金を募ることになりました。関係各位におかれましては、どうか工事の趣旨に賛同していただき、献金を宜しくお願いいたします。(4頁に献金のお願)

日本聖公会第58定期総会報告

総会代議員 司祭 パウロ 上原 信幸

日本聖公会 第58定期総会が5月25日(火)から27日(木)、東京教区聖バルナバ教会にて開催され、35の議案が審議されました。

◎主な議案

- 1. 祈禱書改正 「被選主教」という文言を「主教被選者」に改正。前回を含め二回総会で可決したので、祈禱書の改正が行われます。
- 2. 聖職按手式 主教・司祭按手式で歌われている「聖霊を求めぬ歌」が、執事按手式では用いられてこなかったのが改正されます。執事職の重要性を確認する趣旨です。第一回目の協賛を得ましたので、次回の総会での可決をもって確定します。
- 3. 「懲戒および審判廷規則 検討特別委員会設置」 審判廷規則の運用を円滑にするため、法律の専門家を含めた委員会が設置されます。
- 4. 「地球環境のために祈る 主日」 世界環境デーに近い主日が表記の主日として定められます。

◎選挙結果など

- 首座主教 植松 誠主教(北海道)
- 主教常議員 三鍋 裕主教(横浜) 五十嵐正司主教(九州)
- 聖職常議員 野村 潔司祭(中部) 笹森 田鶴司祭(東京) 興石 勇司祭(北関東)
- 信徒常議員 池住 圭姉(中部) 山田 益男兄(東京) 佐々木靖子姉(京都) が選ばれ、聖職・信徒常議員は男女が同数となりました。
- 管区事務所総主事 相沢 牧人司祭(横浜)

5. 「平和宣教教育活動資金」の創立 中高生世代が平和プログラム等に参加し、平和を学ぶことを支援します。

6. 「日本聖公会宣教協議会」二〇一二年八月に清里で「宣教する共同体のありようを求めて(仮題)」をテーマに開催されます。

今総会は、世界的不況の中で、教会運営について、様々な教区間協働が話題となることが多い総会でした。神様に委ねられた財産についても忠実であることが求められます。

キャンプサーバー・トレーニング・キャンプ(CTC)に参加して

アンナ 近藤 衣里子

6月18日から20日までの3日間、神戸教区事務所を中心に青年12名、スタッフ4名が参加し、キャンプサーバー・トレーニング・キャンプ(以下CTC)を行いました。

私は今、保育士という職に就いていますが、大喧嘩をしている子どもがいる時、すぐに止めに入ろうとしたが、先輩保育士から「様子を見て」と助言を受け、少し離れて様子

を見ていたことがありました。しばらくすると1人の子が泣き出してしまい、周りにいたクラスのお友だちは「どうしたの?」と集まってきて、子どもたちだけで話し合い、結果仲直りをすることが出来ました。

その時、助けを出さなくても、子どもたちは自分たちで解決できる力を持っているということを学びました。

それは中高生大会でも同じようにすることが大切だと思えます。確かに中高生から相談された時、キャンプサーバー(以下CS)として答えを出すのは簡単なことかもしれませんが、でも、そうではなく「あなたはどうしたらいいと思う?」と逆に問いかけ、中高生自身が考えて、出た答えが本当の答えだと思えますし、そのためにCSとしてはまずは見守ることを大切にしよう」と話し合いました。



その他、このCTCの中で、学年別や班別ディスカッションへのCSとしての関わり方が話し合われました。その際、CSとして一番難しいのは、中高生との距離感です。信頼関係って簡単に築けるものじゃありませんし、でもCSと仲良くなかったら中高生は相談しにくいはずですが、相手を理解しようとする思いは言葉にしなくても必ず伝わります。相槌を入れてくれる人がいるだけで心強く、相談してみようという感情が生まれてくると思えます。

また、洞察力もとても大切で、相手を理解しようとする思いがあれば、少しの変化にも気付けるはずで、気付いた時はそっと声を掛けてあげる事で相手も安心感を覚え、それが少しずつ信頼関係へと繋がっていく、そのことも、CSとして参加するにあたって大切にしたいと話し合いました。

中高生大会もCTCも青年交流会も、私にとってはかけがえのない大切な思い出と、たくさん仲間に出逢った場です。ですから、これから中高生大会に参加する皆様にとってもそんな場になってもらうために、以上のようなことを今回CTCに参加したみんなと話し合いました。(高知聖パウロ教会信徒)

教区教役者修養会開催

6月1日(火)〜3日(木)、神戸教区の教役者修養会が、山口県長門市郊外の温泉旅館「山村別館」にて開かれ、教区教役者21名が参加しました。今回、講師には九州教区から正義と平和の問題に取り組んで来られた、柴本孝夫司祭(小倉インマヌエル教会牧師)にお越し頂きました。

講話では、同司祭ご自身の平和と正義の問題への取り組みの動機として、戦争の悲劇の中にあっても、平和の器として「御言葉に動かされている人々」が確かにいるということ、そうした人々の話を聞き、また実際に接して、心を動かされたことなど、また九州教区の平和プログラムを取り組みと、今後の課題などについてお話し頂きました。

「教区アワー」では、主教からの報告や連絡、教区事務所各部や諸委員会の活動報告、管区総会報告がなされ、教区の現況が分かち合われました。期間中は天候にも恵まれ、翌日の自由時間には、風光明媚な海岸線の観光を楽しみ、また同市は童謡詩人の金子みすず氏の出身地でもあり、その記念館の見学などにも参りました。同業者が一堂に会しての親しい交わりの時が与えられたことを、また開催の労をとってくださった広島伝道区教役者の方々に感謝したいと思えます。(小南 記)

日本聖公会神戸教区 2010年度信徒神学塾開講

- 1. 開講科目及び講師 ○アンゲリカニズム (私たちの信仰の起源を訪ねて) 講師:大野清夫司祭(横浜教区) 講師:吉田雅人司祭 (ウリアムス神学館館長)
- 2. 授業方法・期間・その他 2010年9月1日〜2011年8月31日に通信教育及び年1回スクーリング
- 3. 受講料・1科目3000円 各教会に配布の郵便振込用紙にて
- 4. 申込・その他 各教会に案内・申込書が配布されていますので、お見せ下さい。締切:8月末 お問い合わせは神戸教区事務所 (TEL 078-3511546)まで

